

平成 26 年 9 月 16 日

スポーツ復興支援活動レポート

「サンライズキャンプ 2014 被災地復興支援活動 in 福島」

大阪体育大学
生涯スポーツ実践研究センター
センター長 富山 浩三

平成 26 年 8 月 28 日(木)から 8 月 31 日(日)の 4 日間、「サンライズキャンプ 2014 被災地復興支援活動 in 福島」を実施した。

これは、男子学生 8 名、教職員 2 名が被災地(福島県南相馬市鹿島区周辺)に直接出向き、復興支援活動を行うというものである。福島県南相馬市は、地震や津波の被害はもちろんのこと放射能の影響で仮設住宅への非難が余儀なくされている。

今回で 3 回目となる被災地復興支援活動は、仮設住宅集会場でのサロン活動を継続しつつ、より体育大学の特性を活かため、その地域にある地域スポーツクラブの会員の皆様を招き、学生を主体としてスポーツイベントを企画・運営した。



写真 1 奇跡の一本松 in 福島県南相馬市

1. 仮設住宅入居者へのサロン活動

仮設住宅集会所でのサロン活動は、仮設住宅にお住まいのおじいちゃん、おばあちゃんたちと一緒に、レクリエーション活動やリズム・ダンス体操等、肩もみやストレッチングなどを行い、狭い仮設住宅での疲労回復やスキンシップ、コミュニケーションを深めることを目的に活動した。

その他にも、仮設住宅の敷地内にある「のらとも農園」でのビニールハウス内の苗の運搬や、畑内の草むしりなどを行った。また、他団体が行っていた炊き出し(かき氷、ジュース、スイカ、冷やしうどん)のお手伝いもさせて頂いた。日が経つにつれ、学生達から「こんなことがしたい!」、「こういったことはできますか?」などと意欲的になり始め、ディスカッションをしていると日付を跨いでしまうこともあった。

現地の方々からは「こんな体操初めて!」、「みんなが帰ってからもこの体操したいからCDを頂戴!!」、「地震のことを日本国民はどんどん忘れかけてきているのに、こうしてボランティアに来て一緒に話をできるということがうれしい」などのご好評を頂いた。



写真2 仮設住宅集会所での
レクリエーション活動



写真3 仮設住宅集会所の
サロン活動後の集合写真



写真4 のらとも農園のお手伝い



写真5 炊き出しのお手伝い後の
集合写真

2. スポーツ交流会イベント

スポーツイベント「夏のスポーツ祭！～大阪体育大学生がやってくる！～」では、かしま元気スポーツクラブの子どもたち(小学1年生～6年生の53名)が参加し開催された。当日のスポーツイベントのプログラムは事前に学生が主体となり考えられ、アイスブレイクなどのレクリエーション、直径1m22cmもあるキンボール、スポンジボールで行うショートテニス、エプロンのようなクロスで打ち合うフリngo、様々なルールを組み込んだドッジボール(爆弾ドッジ、エレベータードッジ)を行った。実際に企画・運営する難しさを噛みしめながらも、「東北の子どもたちを少しでも元気づけたい」という想いを強く持って活動ができた。



写真6 キンボール



写真7 フリngo



写真8 ショートテニス



写真9 ドッジボール

3. 被災地見学

現地の方(つながっぺ南相馬理事長今野由喜様)に被災地を見学させて頂いた。福島県南相馬市小高区を中心に、浪江町との境目、小高区の街並み、小高神社、海岸沿いをご

案内頂いた。小高区は福島第一原子力発電所から半径 10～20 キロ圏内の区域であり、現在避難指示解除準備区域として指定されている。避難指示解除準備区域とは、早期帰還を目指す「年間積算線量が 20 ミリシーベルト以下となることが確実であることが確認された地域」であり、主要道路における通過交通、住民の一時帰宅（宿泊禁止）は柔軟に認められている。平成 28 年 4 月の避難指示解除を目指し復興作業中である。参加した学生は現地の方からのお話には息を呑んで聞き入っており、感想文には「大阪に帰り、家族や友人などに伝えたい」、「自分の考え方や価値観が大きく変わりました」、「テレビでも取り上げられなくなったが、震災はまだ終わっていないのだとこの目で感じた」など 4 日間で学生それぞれが感じ取った想いが綴られていた。学生への教育的効果という面をふくめ、すべてのプログラムにおいて成果があったと考える。

最後に、現地でのスケジューリング、被災地案内をしてくださった特定非営利活動法人「つながっぺ南相馬」理事長の今野由喜様をはじめとする集会所担当スタッフの皆さま、のらとも農園での活動後に貴重なお話をしてくださった藤島昌治様、廣畑裕子様、スポーツイベントにご協力頂いた「かしま元気スポーツクラブ」の皆さまをはじめ、たくさんの方々にお世話になった。改めて感謝を申し上げる。

そして何より、毎晩夜遅くまでサロン活動やスポーツイベントの準備を頑張ってくれた学生達に敬意を表す。

(本事業は、公益社団法人全国大学体育連合の活動補助金 20 万円を受けて実施された。)



写真 10 スポーツイベント後の集合写真